

資料

委員会構成

全国生涯学習ネットワークフォーラム2012 各委員会について

各企画実施委員会の代表（座長、学識経験者、参加・協力団体代表者等）により構成。分科会間相互の情報共有や分科会を通じた連携・相互調整を図り、フォーラム全体の運営及び実施について検討するとともに関係団体等の協力・参加を促進する。

実行委員会【主催】

企画実施委員会
(宮城分科会)

企画実施委員会
(福島分科会)

企画実施委員会
(岩手分科会)

企画実施委員会
(ICT分科会)

分科会毎に設置。大学、NPOや生涯学習関係団体、民間企業等関係者により構成。各分科会のプログラムの企画・立案及び実施・運営を担う。
また、運営の基本方針に基づき、フォーラムの自己評価等を行う。

開催要綱・各委員会設置要綱等

全国生涯学習ネットワークフォーラム2012開催要綱

1. 趣旨

急激な社会の変化に対応し、豊かで安心・安全な社会を形成するためには、国民一人ひとりが、当事者として地域づくりや社会づくりに参画することが重要。

全国生涯学習ネットワークフォーラム（以下「フォーラム」という。）は、日本の多くの地域社会が抱えている課題をテーマとして、行政や大学等の教育機関、NPOや生涯学習団体等民間団体、企業等の関



係者及び国民一人ひとりが、生涯学習を通じた新しい社会づくり・地域づくりについて研究協議し、その成果の発信と活動の全国展開を図るとともに中長期的な取組を推進するための関係者間のネットワークづくりを目指す。

なお、平成23年度から25年度までの3年間は、東日本大震災からの復旧・復興や震災から見てきた全国共通の課題解決に資する事業として取り組む。

2. 運営の基本方針

運営の基本方針は、趣旨に鑑み次のとおりとする。

- ①「生涯学習を通じた新しい社会づくり、地域づくり（＝「新しい公共」による社会づくり）」を進めるためのきっかけの場
- ②継続的・広域的な取組を推進するための関係者間のネットワークづくり
- ③事業の企画・実施等において、様々な機関・団体等と協働した新しい公共型による運営の一層推進
- ④関係府省を始め様々な関係機関・団体等と連携・協働し、地域課題解決を総合的な視点で捉えた事業構成
- ⑤様々な機関、団体、個人等からの参加を得るための広報の充実
- ⑥参加者が、フォーラム後の活動において主体的・継続的に取り組むための工夫

3. 主催者

本事業は、趣旨及び運営の基本方針に鑑み、文部科学省、地方公共団体、大学、企業、NPO、その他の関係団体等から構成される全国生涯学習ネットワークフォーラム2012実行委員会(以下、実行委員会)を主催者とする。

4. 実行委員会

実行委員会は、分科会間相互の情報共有や分科会を通じた連携・相互調整を図り、フォーラム全体の運営及び実施について検討するとともに、関係団体等の協力・参加を促進することとし、詳細は実行委員会設置要綱に定めるものとする。

5. 開催場所

開催場所は、宮城県2会場、福島県、岩手県各1会場の全4会場とする。

6. 開催期間

開催期間は、平成24年10月から11月の期間に4分科会を2日間程度実施するものとする。

7. 事業内容

フォーラムの事業は、主催者が実施する主催事業、及び地方公共団体、大学、企業、関係団体等が自主的に開催する参加事業、関連事業とする。

- ①主催事業は4分科会から構成し、各分科会にNPOや生涯学習関係団体、民間企業等関係者により構成される企画実施委員会を設置する。企画実施委員会では、各分科会プログラムの企画・立案及び実施・運営を担うとともに、運営の基本方針に基づき、フォーラムの自己評価等を行うものとする。
- ②関連事業及び参加事業は、実施団体等の開催目的・計画に応じて実施することとし、事業の全般を実施団体等が担うものとする。

関連事業は、平成24年8月から12月の期間に全国各地において、団体や機関等が自主的に開催する事業であってフォーラムの趣旨に即した事業とする。

参加事業は、平成24年8月から12月の期間に岩手県、宮城県、福島県において、団体や機関等

が生涯学習の普及・振興を図るために自主的に開催する事業とする。

8. 補則

この開催要綱に定めるもののほか、フォーラムの開催及び運営に必要な事項は、文部科学省生涯学習政策局長が定める。

全国生涯学習ネットワークフォーラム2012実行委員会設置要綱

1. 趣旨

全国生涯学習ネットワークフォーラム2012（以下「フォーラム」という。）の開催に当たり、事業全体の運営及び実施等について検討するとともに、関係団体等の協力及び参加を促進するため、「全国生涯学習ネットワークフォーラム2012実行委員会」（以下「実行委員会」という。）を設置する。

2. 検討事項

- (1) フォーラムの準備及び開催に関すること
- (2) 関係団体の協力及び参加促進に関すること
- (3) その他

3. 実施方法

- (1) 2に掲げる事項について、別紙の有識者等により検討を行う。
- (2) 必要に応じ、その他の関係者の出席を求めることができるものとする。

4. 実施期間

平成24年5月24日から平成25年3月31日までとする。

5. 事務局

実行委員会の庶務は、生涯学習政策局生涯学習推進課において処理する。

■全国生涯学習ネットワークフォーラム2012実行委員会 名簿

(敬省略)

| | | |
|-----|--------|----------------------------|
| 座長 | 大宮 登 | 高崎経済大学副学長 |
| 副座長 | 貝ノ瀬 滋 | 三鷹市教育委員会教育委員長 |
| | 阿部 芳吉 | 宮城教育大学教育復興支援センター特任教授 |
| | 天野 和彦 | 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任准教授 |
| | 岩 渕 明 | 岩手大学理事・副学長 |
| | 大 泉 一貫 | 宮城大学副学長 |
| | 岡 部 守男 | 一般財団法人日本視聴覚教育協会常務理事 |
| | 小 沢 喜仁 | 福島大学副学長兼地域創造支援センター長 |
| | 佐々木 民夫 | 岩手県立大学副学長 |
| | 丹 波 史紀 | 福島大学行政政策学類准教授 |
| | 中 井 滋 | 宮城教育大学理事・副学長 |
| | 新 妻 二男 | 岩手大学教育学部副学部長 |
| | 西 尾 雄志 | 日本財団学生ボランティアセンター長 |
| | 野 澤 令照 | 仙台市立寺岡小学校校長 |



東原 義訓 信州大学教育学部附属教育実践総合センター教授
山本 奨 岩手大学教育学部准教授
渡部 洋 宮城教育大学附属小学校副校長

全国生涯学習ネットワークフォーラム2012 企画実施委員会(ICT分科会)設置要綱

1. 趣旨

生涯学習を通じた新しい社会づくり・地域づくりについて研究協議を行うとともに、中長期的な取組のための関係者間のネットワークづくりを推進することを目的として「全国生涯学習ネットワークフォーラム2012（以下「フォーラム」という。）」を開催する。

フォーラムにおいて、「ICTを活用した21世紀にふさわしい学びの創造（仮題）」をテーマとした分科会を開催するため、その企画や実施方法等について検討を行うことを目的として「全国生涯学習ネットワークフォーラム2012企画実施委員会（ICT分科会）」を設置する。

2. 検討事項

- (1) 分科会（テーマ「ICTを活用した21世紀にふさわしい学びの創造（仮題）」）の企画及び実施方法について
- (2) その他

3. 実施方法

- (1) 2に掲げる事項について、別紙の有識者等により検討を行う。
- (2) 必要に応じ、その他の関係者の出席を求められることができるものとする。

4. 実施期間

平成24年5月25日から平成25年3月31日までとする。

5. 事務局

この委員会の庶務は、文部科学省生涯学習政策局参事官において処理する。

■全国生涯学習ネットワークフォーラム2012企画実施委員会（ICT分科会）名簿

（敬省略）

| | |
|-------|------------------------|
| 稲垣 忠 | 東北学院大学教養学部准教授 |
| 鵜川 義弘 | 宮城教育大学環境教育実践研究センター教授 |
| 太田 泉 | 日本視聴覚教具連合会理事 |
| 小澤 浩 | 宮城教育大学附属学校課長 |
| 坂井 聡 | 香川大学教育学部准教授 |
| 下川 雅人 | 一般財団法人日本視聴覚協会事務局長 |
| 東原 義訓 | 信州大学教育学部附属教育実践総合センター教授 |
| 渡部 洋 | 宮城教育大学附属小学校副校長 |

（敬省略）

全国生涯学習ネットワークフォーラム2012 企画実施委員会(宮城分科会)設置要綱

1. 趣旨

生涯学習を通じた新しい社会づくり・地域づくりについて研究協議を行うとともに、中長期的な取組のための関係者間のネットワークづくりを推進することを目的として「全国生涯学習ネットワークフォーラム2012（以下「フォーラム」という。）」を開催する。

フォーラムにおいて、「つながりを持った教育復興、復興教育と地域創造（仮題）」をテーマとした分科会を開催するため、その企画や実施方法等について検討を行うことを目的として、「全国生涯学習ネットワークフォーラム2012企画実施委員会（宮城分科会）」を設置する。

2. 検討事項

- (1) 分科会（テーマ「つながりを持った教育復興、復興教育と地域創造（仮題）」）の企画及び実施方法について
- (2) その他

3. 実施方法

- (1) 2に掲げる事項について、別紙の有識者等により検討を行う。
- (2) 必要に応じ、その他の関係者の出席を求めることができるものとする。

4. 実施期間

平成24年5月24日から平成25年3月31日までとする。

5. 事務局

この委員会の庶務は、生涯学習政策局政策課において処理する。

■全国生涯学習ネットワークフォーラム2012企画実施委員会（宮城分科会）名簿 （敬省略）

| | | |
|-----|-------|---------------------------|
| 座長 | 中井 滋 | 宮城教育大学理事・副学長 |
| 副座長 | 阿部 芳吉 | 宮城教育大学教育復興支援センター特任教授 |
| | 貝ノ瀬 滋 | 三鷹市教育委員会教育委員長 |
| | 齋藤 葵 | 宮城教育大学初等教育教員養成課程4年次学生 |
| | 佐藤 理絵 | 河北新報社教育プロジェクト事務局部長 |
| | 高木 詩織 | 宮城教育大学特別支援教育教員養成課程4年次学生 |
| | 野澤 令照 | 仙台市立寺岡小学校校長 |
| | 平間 大揮 | 宮城教育大学初等教育教員養成課程4年次学生 |
| | 身崎 裕司 | 宮城県教育庁スポーツ健康課課長補佐（防災教育担当） |



全国生涯学習ネットワークフォーラム2012 企画実施委員会(福島分科会)設置要綱

1. 趣旨

生涯学習を通じた新しい社会づくり・地域づくりについて研究協議を行うとともに、中長期的な取組のための関係者間のネットワークづくりを推進することを目的として「全国生涯学習ネットワークフォーラム2012(以下「フォーラム」という。)」を開催する。

フォーラムにおいて、「若者達が活躍する『持続可能なまち・地域・社会』(仮題)」をテーマとした分科会を開催するため、その企画や実施方法等について検討を行うことを目的として、「全国生涯学習ネットワークフォーラム2012企画実施委員会(福島分科会)」を設置する。

2. 検討事項

- (1) 分科会(テーマ「若者達が活躍する『持続可能なまち・地域・社会』)」の企画及び実施方法について
- (2) その他

3. 実施方法

- (1) 2に掲げる事項について、別紙の有識者等により検討を行う。
- (2) 必要に応じ、その他の関係者の出席を求められることができるものとする。

4. 実施期間

平成24年5月25日から平成25年3月31日までとする。

5. 事務局

この委員会の庶務は、生涯学習政策局生涯学習推進課において処理する。

■全国生涯学習ネットワークフォーラム2012企画実施委員会(福島分科会)名簿

(敬省略)

| | | |
|-----|-------|----------------------------|
| 座長 | 小沢喜仁 | 福島大学副学長兼地域創造支援センター長 |
| 副座長 | 熊川恵子 | 福島県企画調整部文化スポーツ局参事兼生涯学習課長 |
| | 天野和彦 | 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任准教授 |
| | 小野寺堯大 | 福島大学行政政策学類1年次学生 |
| | 木暮照正 | 福島大学地域創造支援センター副センター長 |
| | 佐藤光俊 | 福島民報社編集局長 |
| | 鈴木典夫 | 福島大学行政政策学類教授 |
| | 丹波史紀 | 福島大学行政政策学類准教授 |
| | 土谷一貴 | 福島大学行政政策学類4年次学生 |
| | 中田スウラ | 福島大学人間発達文化学類学類長 |
| | 西尾雄志 | 日本財団学生ボランティアセンター長 |
| | 根本幸枝 | 国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金部長 |
| | 松原正明 | 福島民友新聞株式会社編集局長 |
| | 三浦浩喜 | 福島大学人間発達文化学類教授 |
| | 山口小百合 | 福島学院大学福祉学部4年次学生 |

全国生涯学習ネットワークフォーラム2012 企画実施委員会(岩手分科会)設置要綱

1. 趣旨

生涯学習を通じた新しい社会づくり・地域づくりについて研究協議を行うとともに、中長期的な取組のための関係者間のネットワークづくりを推進することを目的として「全国生涯学習ネットワークフォーラム2012（以下「フォーラム」という。）」を開催する。

フォーラムにおいて、「まちづくりと人材養成（仮題）」をテーマとした分科会を開催するため、その企画や実施方法等について検討を行うことを目的として、「全国生涯学習ネットワークフォーラム2012企画実施委員会（岩手分科会）」を設置する。

2. 検討事項

- (1) 分科会（テーマ「まちづくりと人材養成（仮題）」）の企画及び実施方法について
- (2) その他

3. 実施方法

- (1) 2に掲げる事項について、別紙の有識者等により検討を行う。
- (2) 必要に応じ、その他の関係者の出席を求めることができるものとする。

4. 実施期間

平成24年5月25日から平成25年3月31日までとする。

5. 事務局

この委員会の庶務は、生涯学習政策局生涯学習推進課において処理する。別紙

■全国生涯学習ネットワークフォーラム2012企画実施委員会（岩手分科会）名簿

（敬省略）

| | | |
|-----|---------|---------------------|
| 座長 | 岩 湊 明 | 岩手大学理事・副学長 |
| 副座長 | 新 妻 二 男 | 岩手大学教育学部副学部長 |
| | 遠 藤 隆 | 株式会社テレビ岩手編成技術局長 |
| | 大 宮 登 | 高崎経済大学副学長 |
| | 小野寺 夏 菜 | 岩手大学農学部4年次学生 |
| | 川 崎 一 弘 | 釜石市教育委員会教育長 |
| | 神 崎 紅 音 | 岩手大学農学部3年次学生 |
| | 後 藤 尚 人 | 岩手大学大学教育総合センター教授 |
| | 高 橋 寛 | 岩手県生涯学習振興協会会長 |
| | 龍 澤 正 美 | 学校法人龍澤学館理事長 |
| | 田 村 満 | 岩手県中小企業家同友会代表理事 |
| | 西 村 文 彦 | 岩手県教育委員会生涯学習文化課総括課長 |
| | 藤 尾 智 子 | 岩手県紫波町生活部町民課課長 |
| | 松 村 侑衣子 | 岩手大学教育学部3年次学生 |
| | 山 本 奨 | 岩手大学教育学部准教授 |



ホームページ・フェイスブック

全国生涯学習ネットワークフォーラム2012では、様々な機関、団体、個人等から参加を得るために、効果的な広報活動に取り組んだ。本フォーラムに関心を有する個人・団体等に対して、文部科学省ホームページ、ツイッター及びフェイスブックページ等を用いて広報を行った。

フェイスブックページでは、本フォーラムの新着情報を随時報告するとともに、閲覧者からの質問・意見を掲載する場として活用した。更に、宮城分科会では、フェイスブック上にグループを設け、関係者間による議論の場としても展開している。



文部科学省ホームページ
(http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/shougaigakushu/1307857.htm)

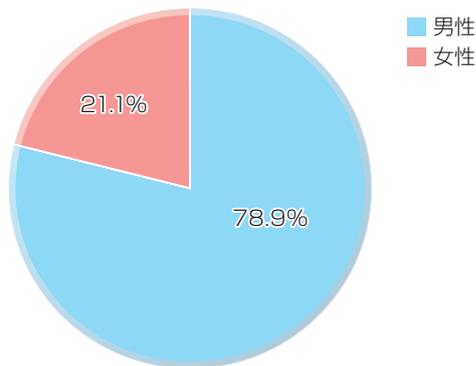


フェイスブックページ
(<http://www.facebook.com/manabipeer>)

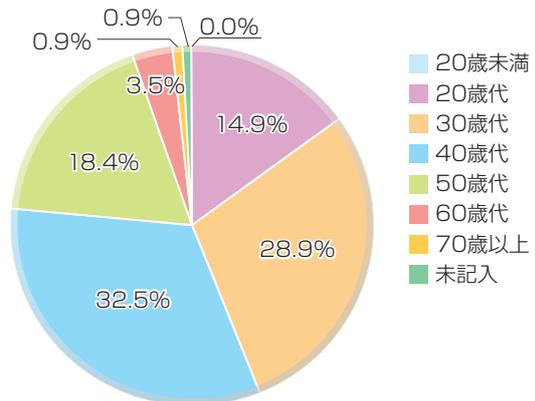
アンケート集計結果

ICT分科会 来場者アンケート (114人分)

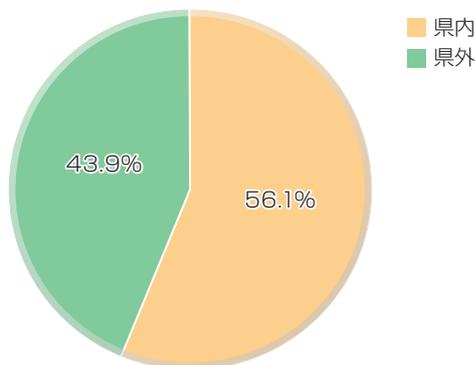
Q1. あなたの「性別」をお答えください。



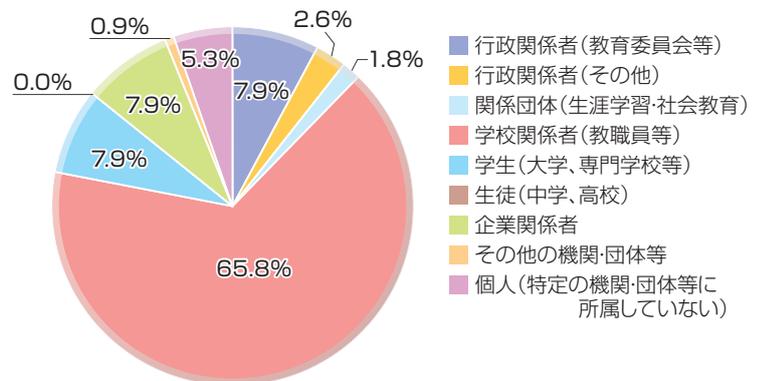
Q2. あなたの「年齢」をお答えください。



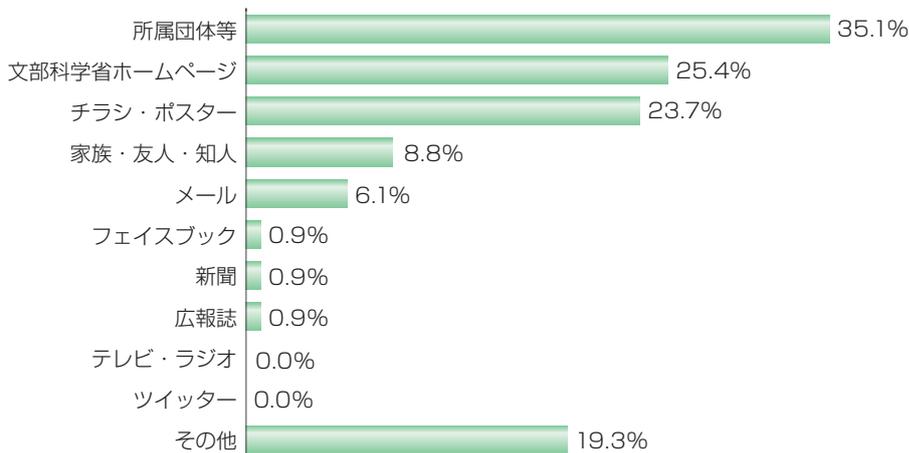
Q3. あなたの「お住まい」をお答えください。



Q4. あなたの「職業等」についてお答え下さい。

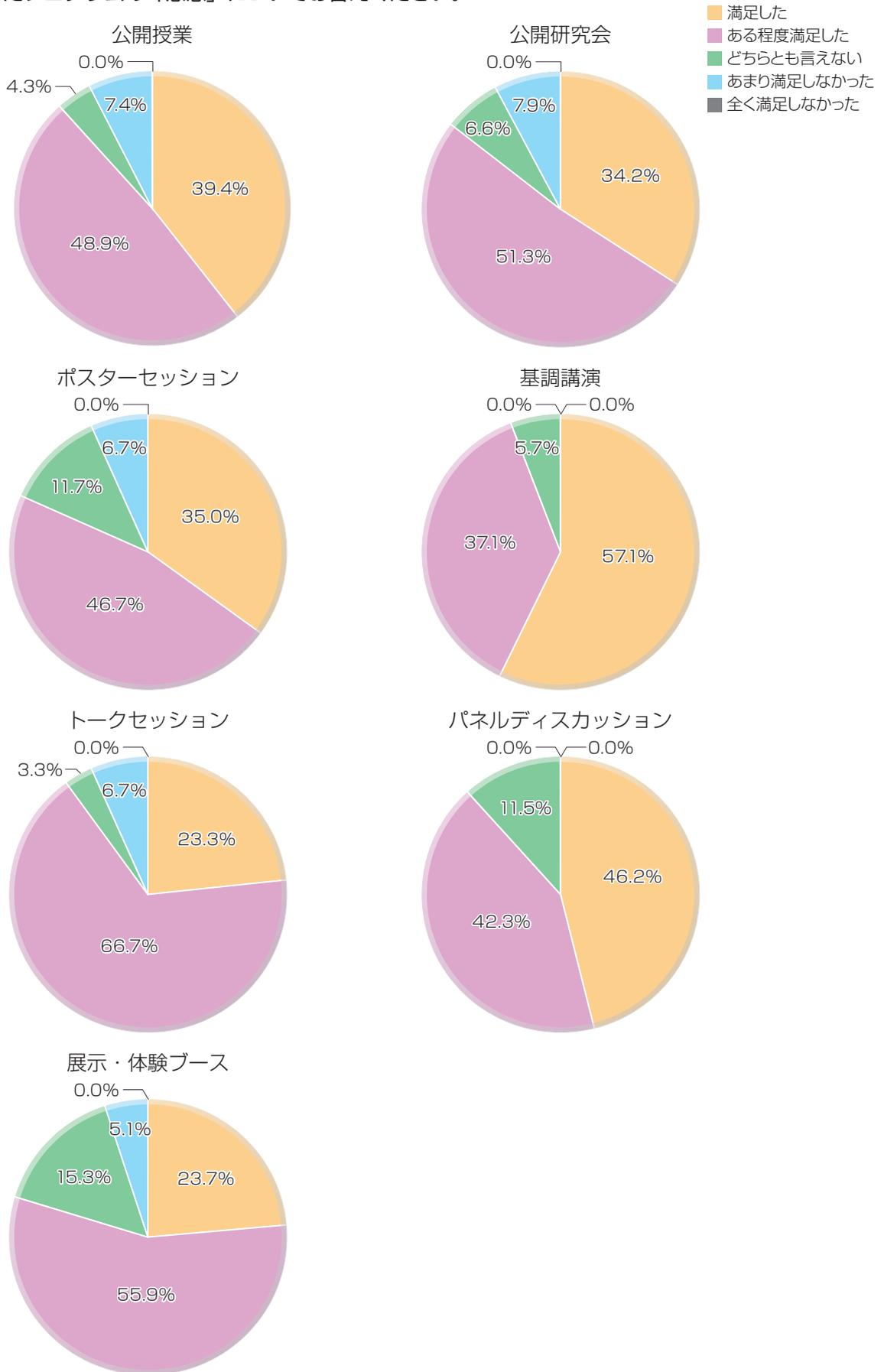


Q5. このフォーラムを何で知りましたか。【複数回答可】

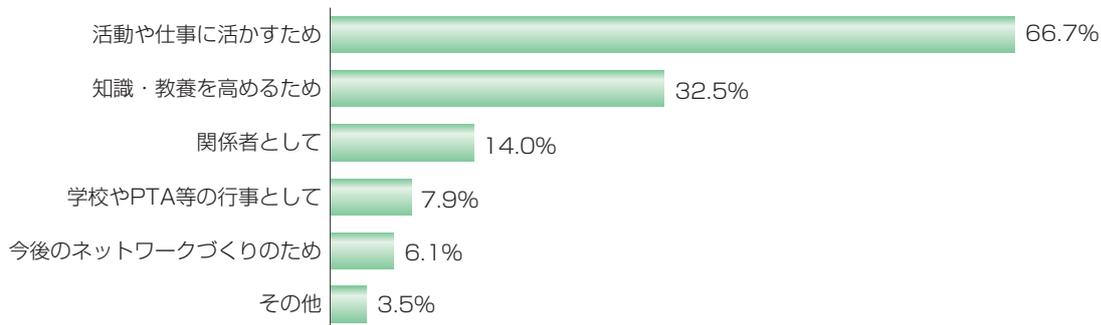




Q6. 参加したプログラムの「感想」についてお答えください。

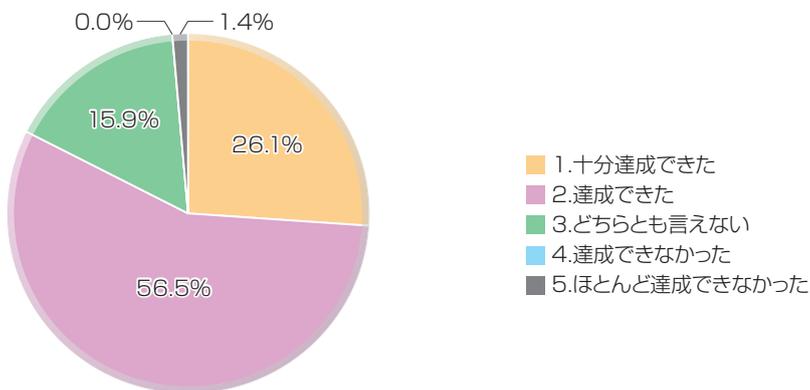


Q7. このフォーラムに参加した「目的」をお答え下さい。【複数回答可】

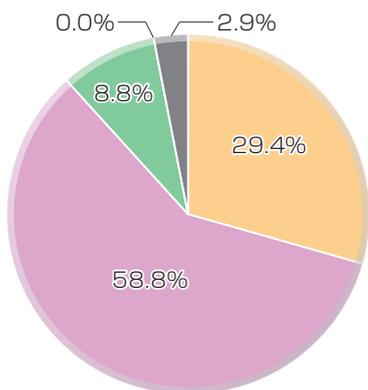


Q8. このフォーラムに参加して、それらがどの目的達成できたか1～5でお答えください。

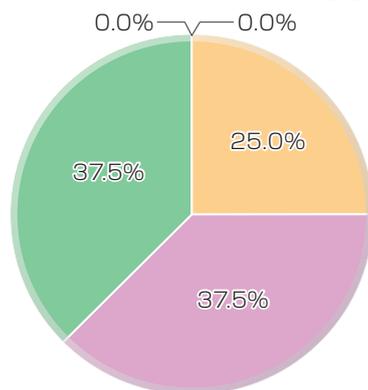
活動や仕事に活かすため参加した人



知識・教養を高めるため参加した人



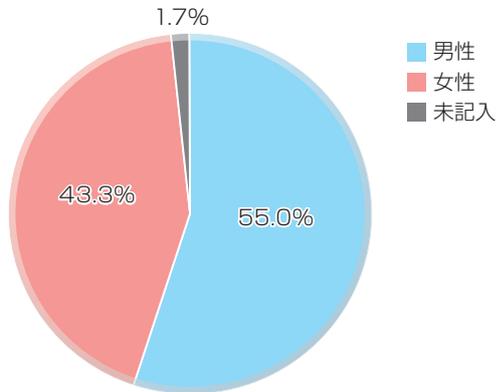
今後のネットワークづくりのため参加した人



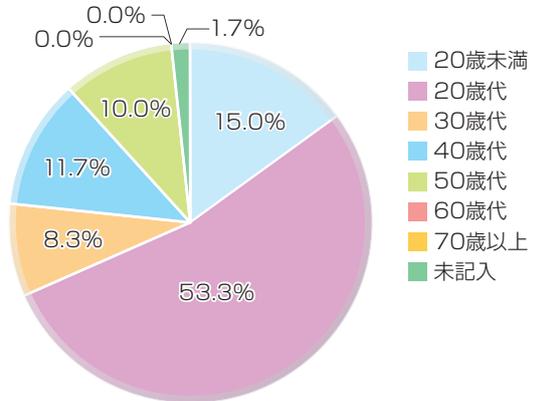


■宮城分科会 来場者アンケート (60人分)

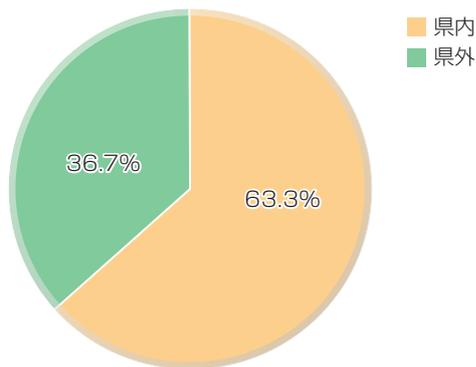
Q1. あなたの「性別」をお答えください。



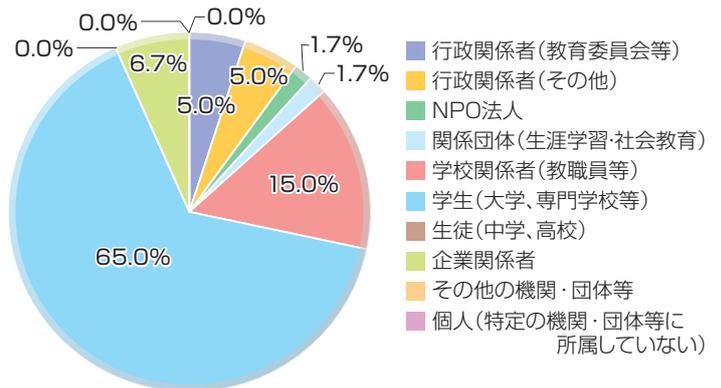
Q2. あなたの「年齢」をお答えください。



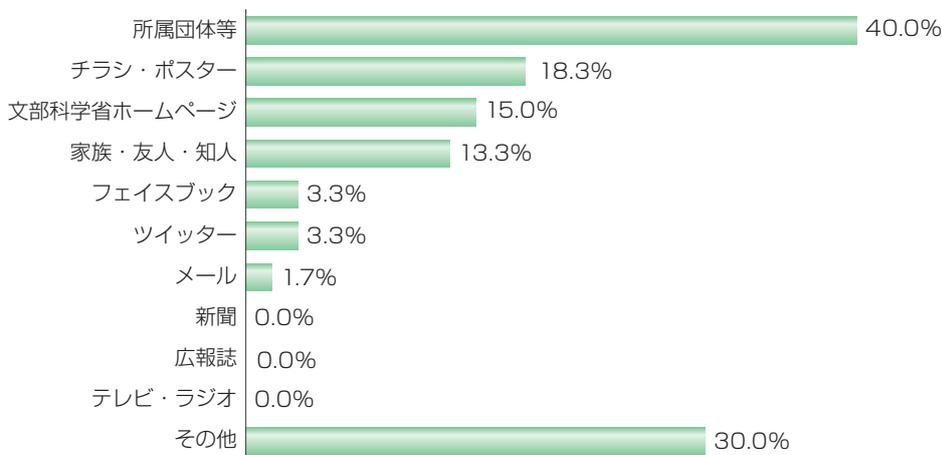
Q3. あなたの「お住まい」をお答えください。



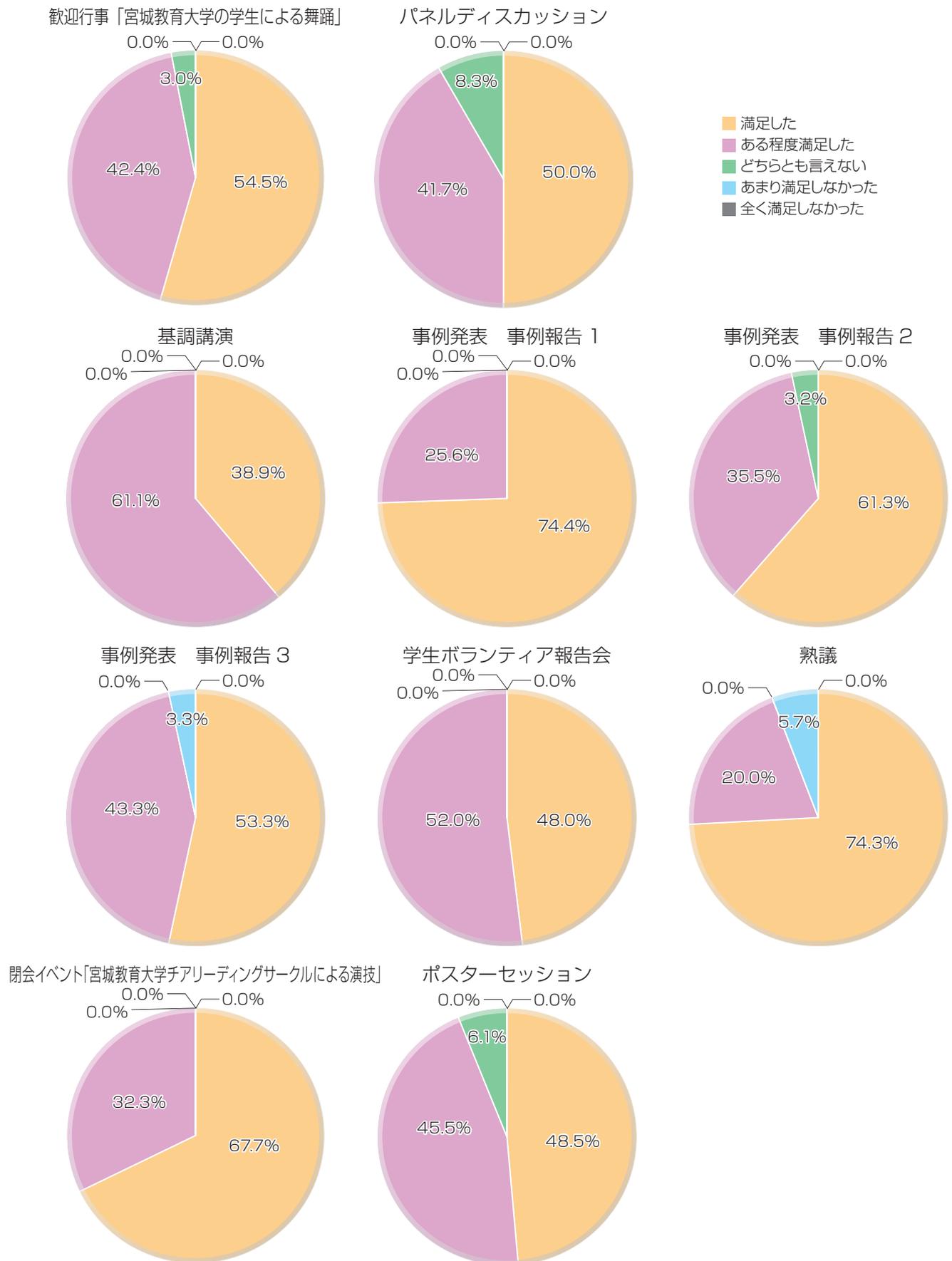
Q4. あなたの「職業等」についてお答え下さい。



Q5. このフォーラムを何で知りましたか。【複数回答可】

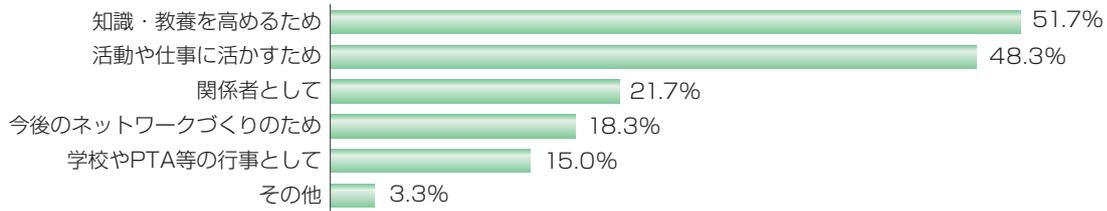


Q6. 参加したプログラムの「感想」についてお答えください。



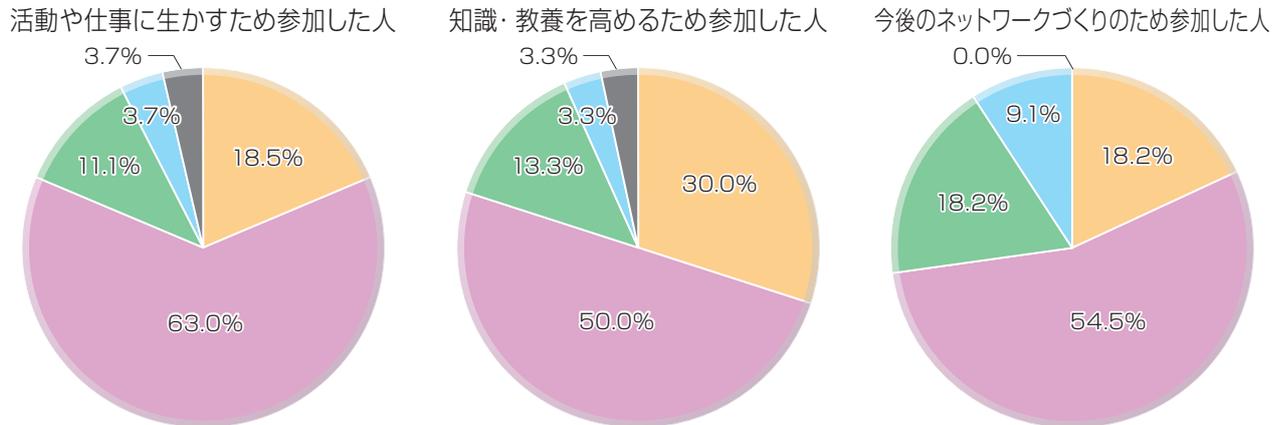


Q7. このフォーラムに参加した「目的」をお答え下さい。【複数回答可】

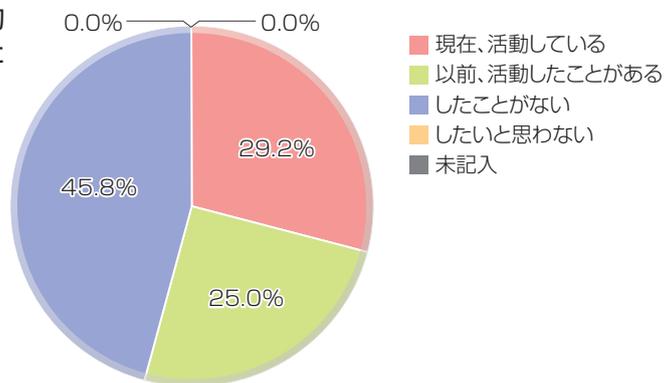


Q8. このフォーラムに参加して、それらがどの程度達成できたかお答えください。

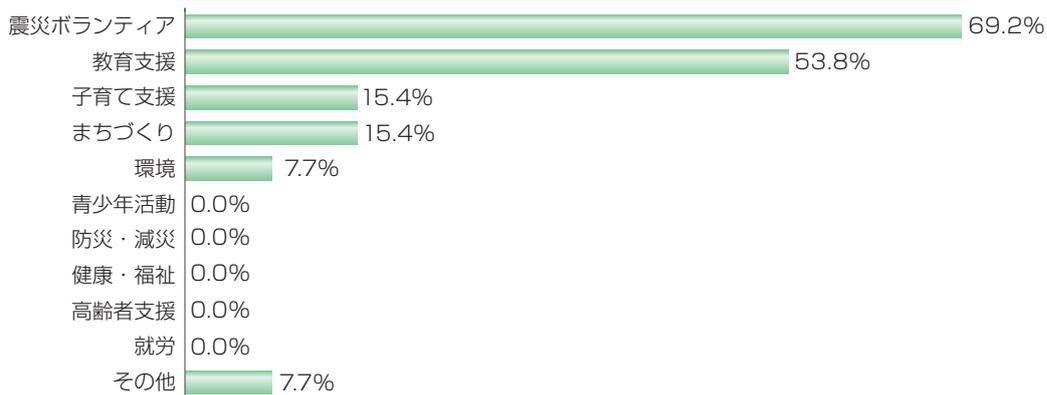
十分達成できた 達成できた どちらとも言えない 達成できなかった ほとんど達成できなかった



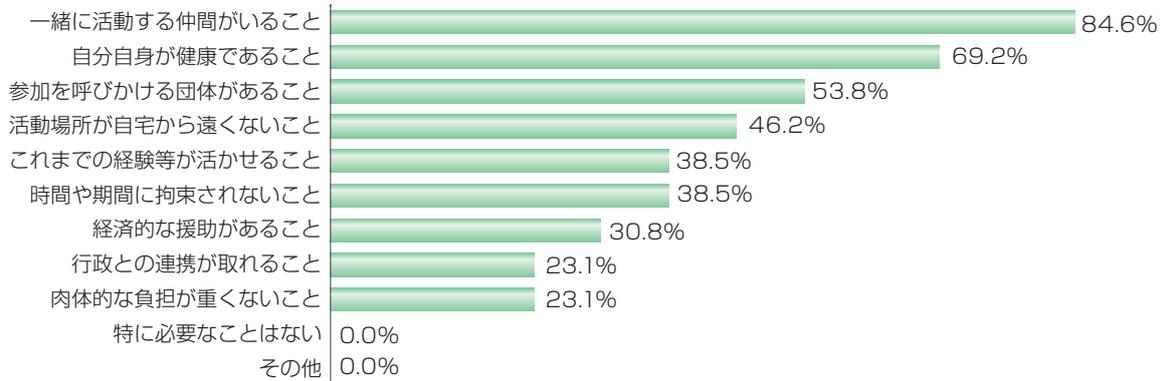
Q9. あなたは、これまでに地域や社会的な課題を解決するための活動に参加したことがありますか。



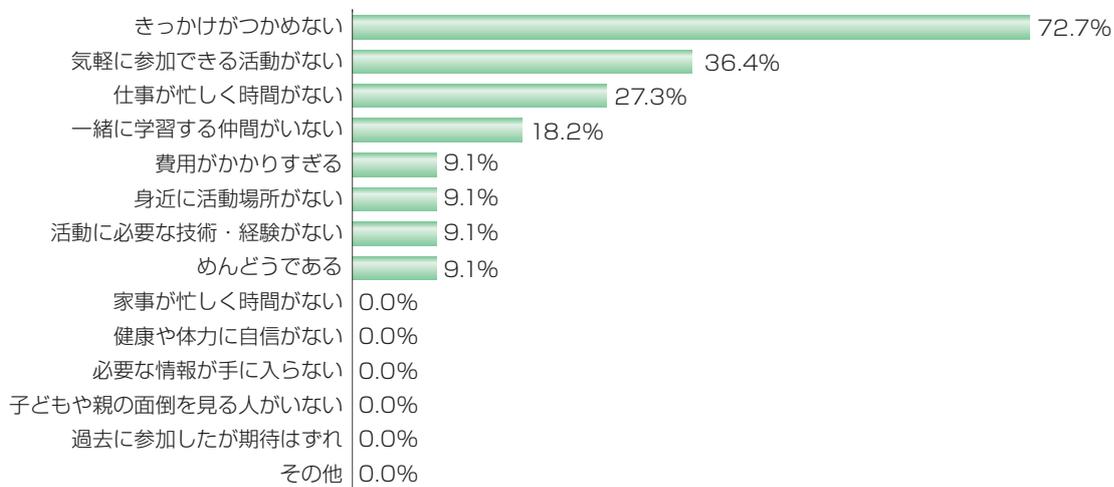
Q10. どのような地域活動に参加していますか【複数回答可】



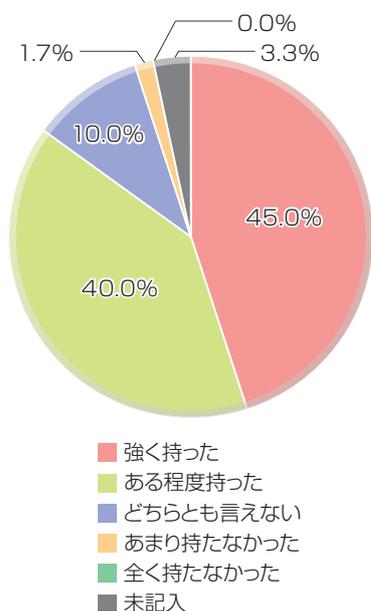
Q11. 地域活動に参加するにあたってどのようなことが必要だと思いますか【複数回答可】



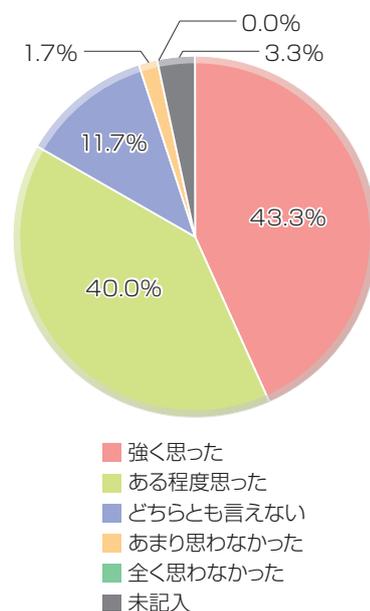
Q12. 地域活動に参加しなかったあるいは参加したくないと思う理由はなんですか【複数回答可】



Q13. このフォーラムに参加して、地域や社会的な課題に興味や関心を持ちましたか



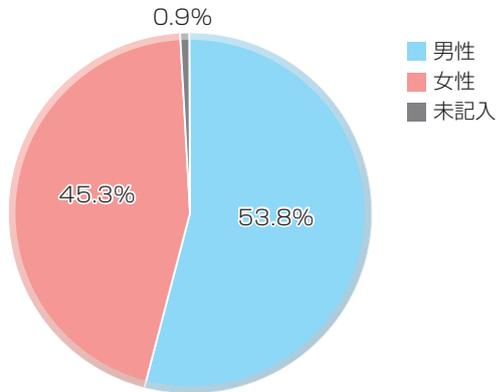
Q14. このフォーラムに参加して、地域や社会的な課題を解決するための活動に参加したいと思いましたか。



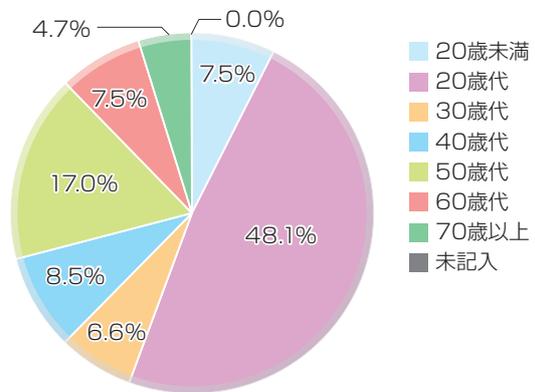


■福島分科会 来場者アンケート (106人分)

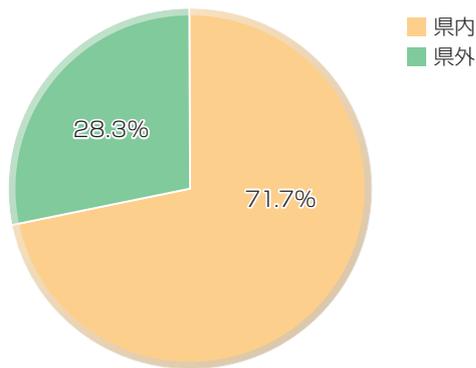
Q1. あなたの「性別」をお答えください。



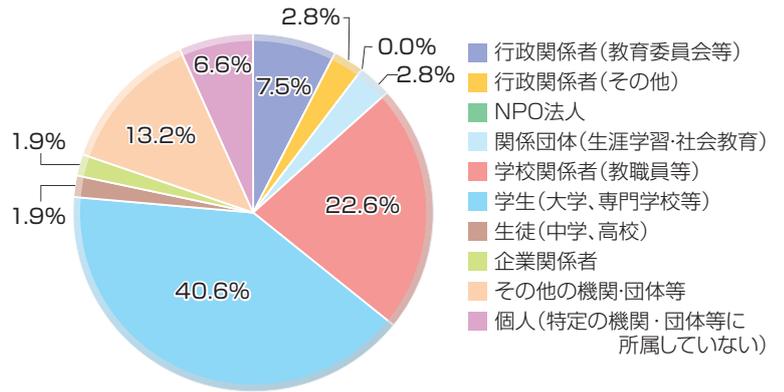
Q2. あなたの「年齢」をお答えください。



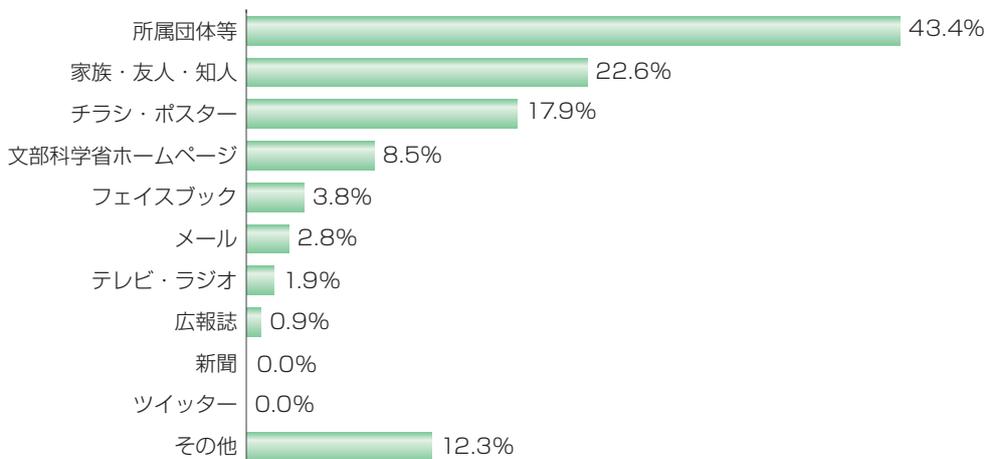
Q3. あなたの「お住まい」をお答えください。



Q4. あなたの「職業等」についてお答え下さい。

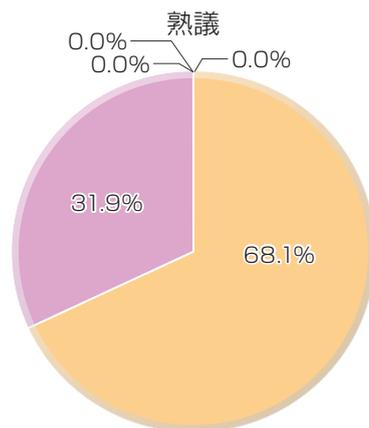
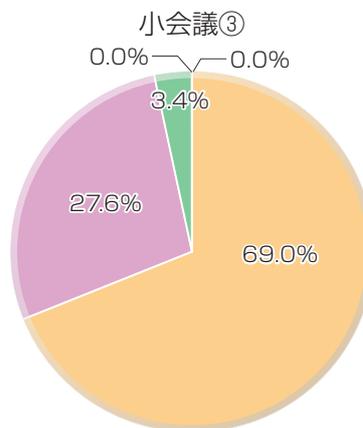
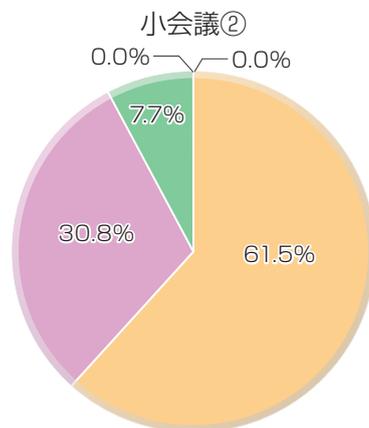
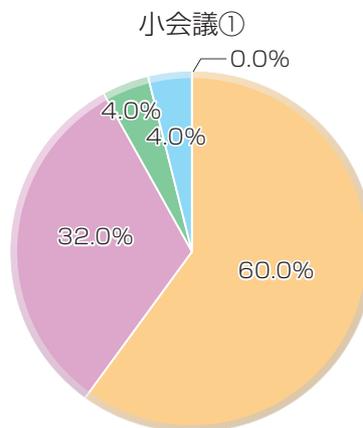
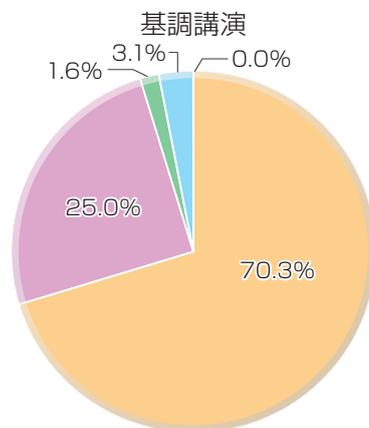
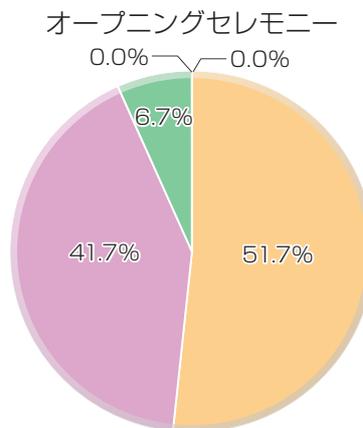
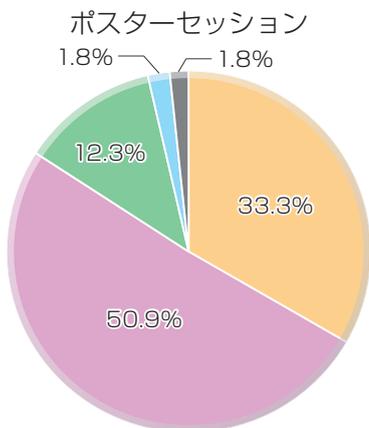


Q5. このフォーラムを何で知りましたか。【複数回答可】



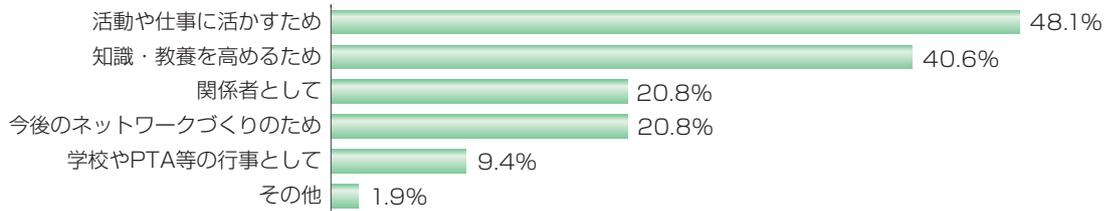
Q6. 参加したプログラムの「感想」についてお答えください。

- 満足した
- ある程度満足した
- どちらとも言えない
- あまり満足しなかった
- 全く満足しなかった



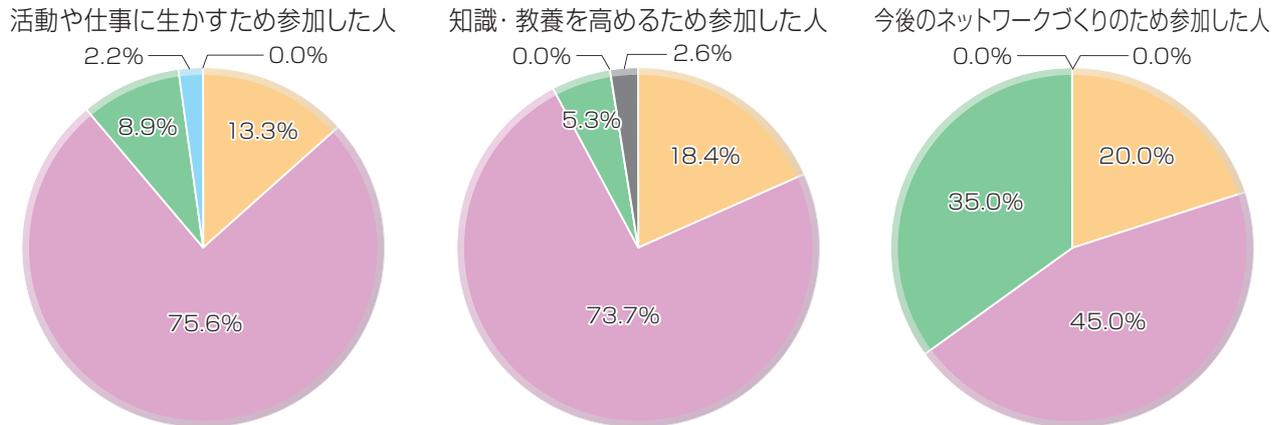


Q7. このフォーラムに参加した「目的」をお答え下さい。【複数回答可】

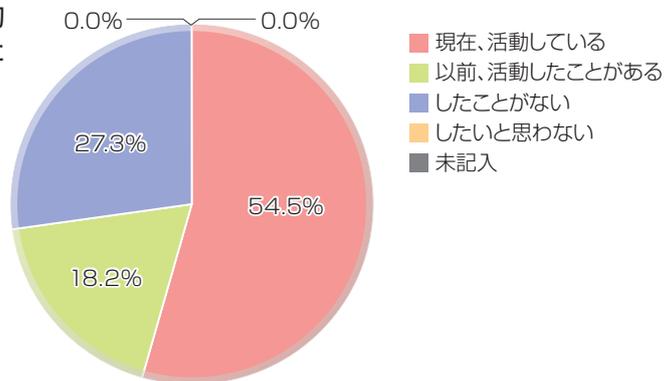


Q8. このフォーラムに参加して、それらがどの程度達成できたかお答えください。

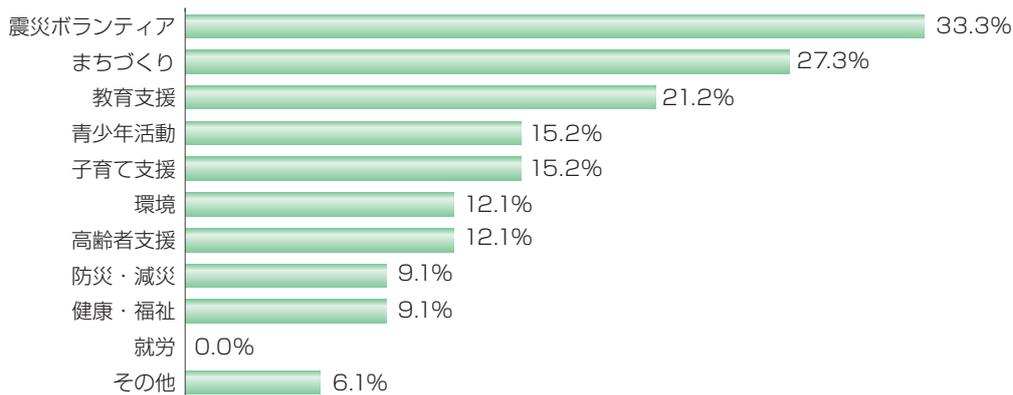
■ 十分達成できた ■ 達成できた ■ どちらとも言えない ■ 達成できなかった ■ ほとんど達成できなかった



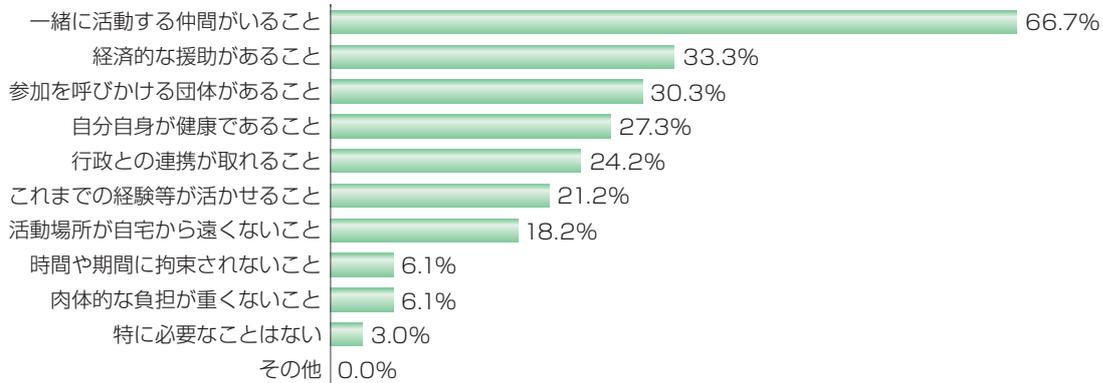
Q9. あなたは、これまでに地域や社会的な課題を解決するための活動に参加したことがありますか。



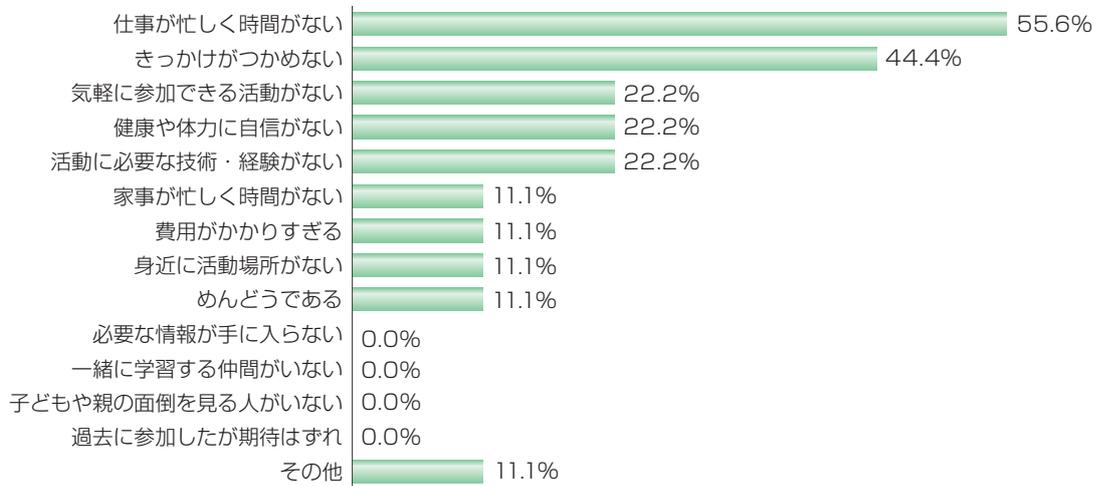
Q10. どのような地域活動に参加していますか【複数回答可】



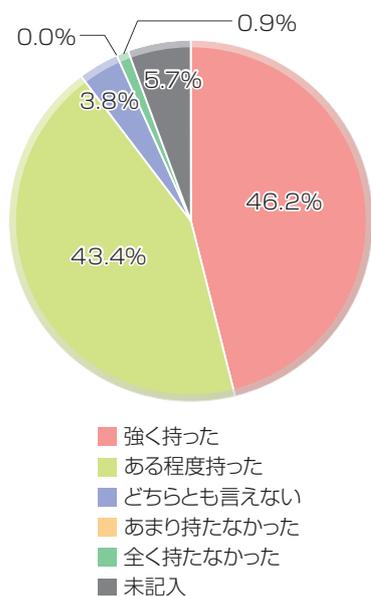
Q11. 地域活動に参加するにあたってどのようなことが必要だと思いますか【複数回答可】



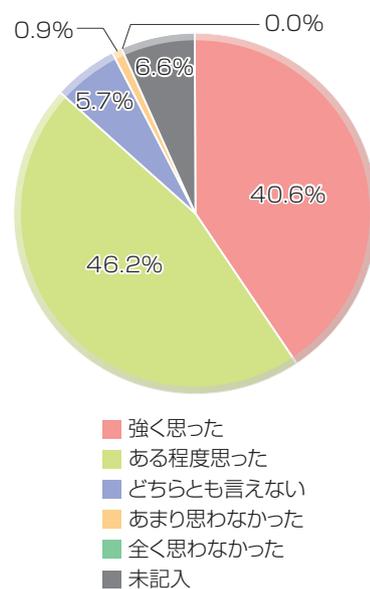
Q12. 地域活動に参加しなかったあるいは参加したくないと思う理由はなんですか【複数回答可】



Q13. このフォーラムに参加して、地域や社会的な課題に興味や関心を持ちましたか



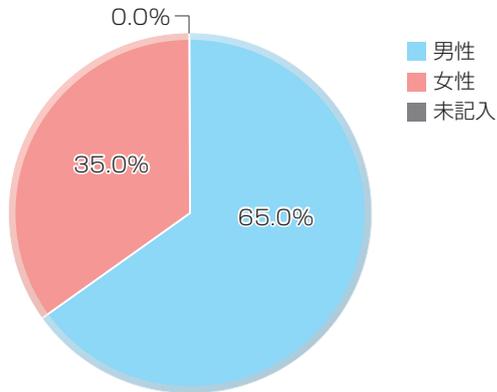
Q14. このフォーラムに参加して、地域や社会的な課題を解決するための活動に参加したいと思いましたか。



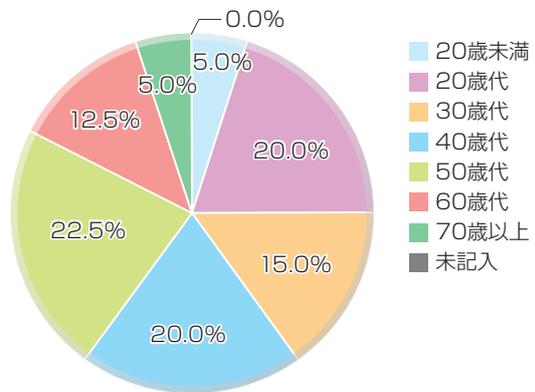


■ 岩手分科会 来場者アンケート (40人分)

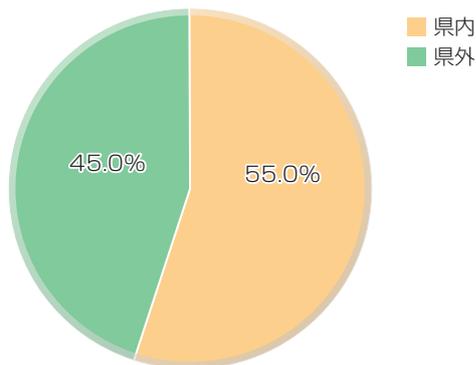
Q1. あなたの「性別」をお答えください。



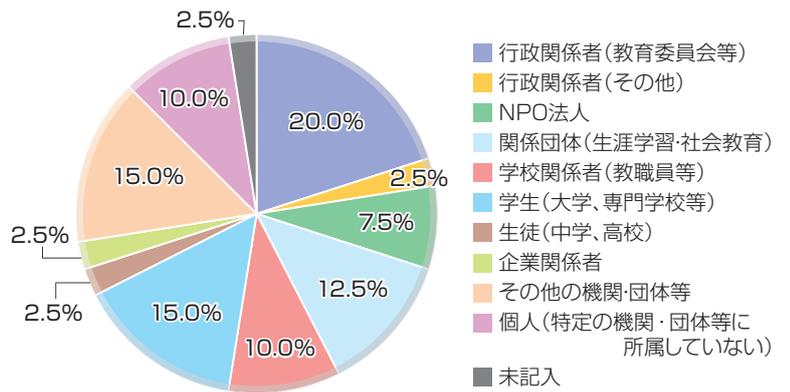
Q2. あなたの「年齢」をお答えください。



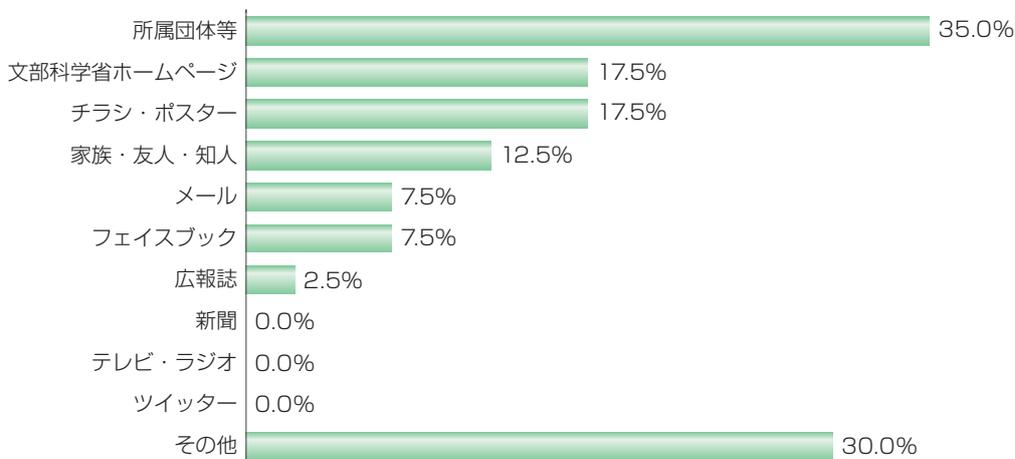
Q3. あなたの「お住まい」をお答えください。



Q4. あなたの「職業等」についてお答え下さい。

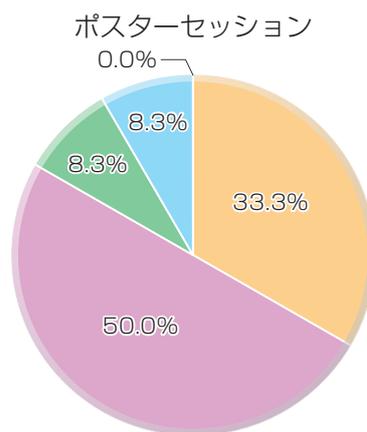
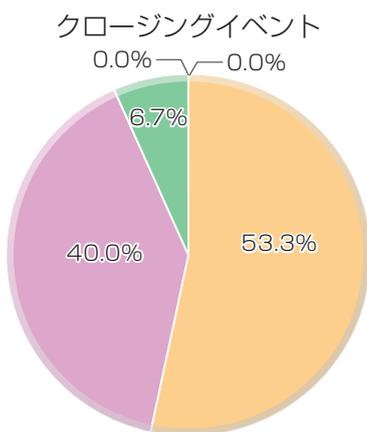
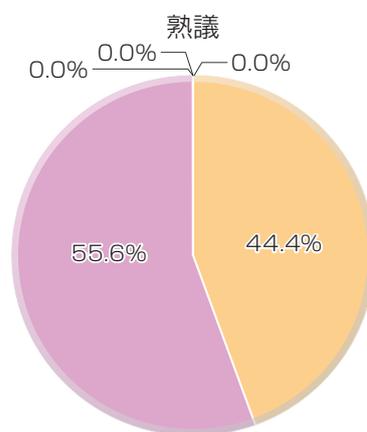
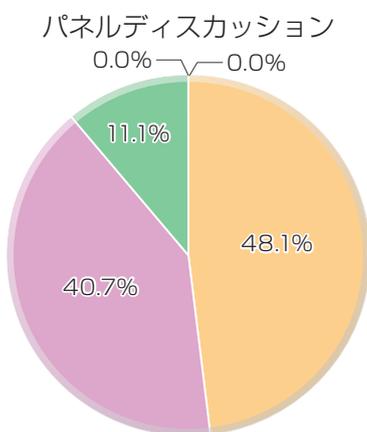
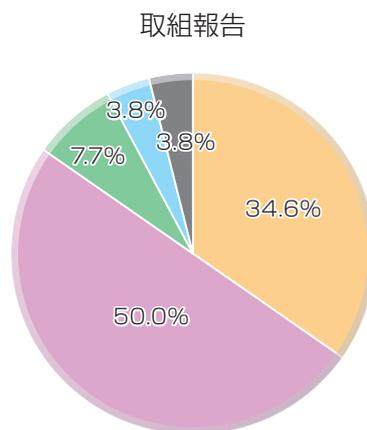
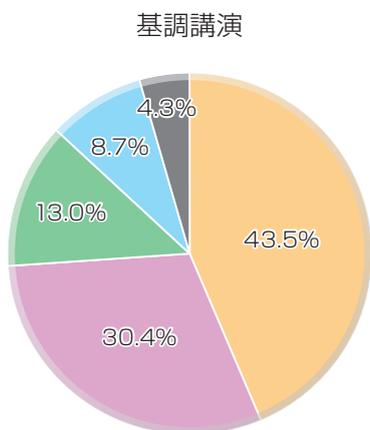


Q5. このフォーラムを何で知りましたか。【複数回答可】



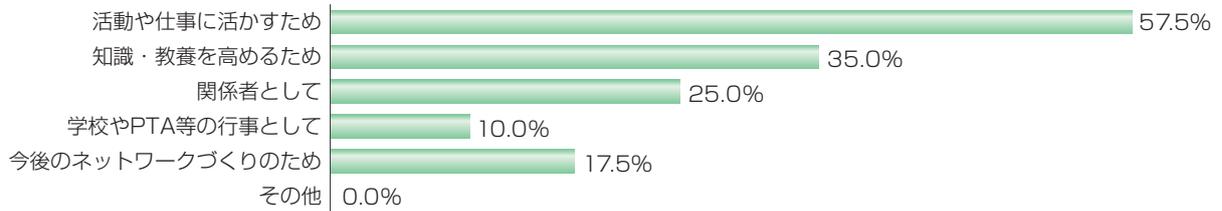
Q6. 参加したプログラムの「感想」についてお答えください。

- 満足した
- ある程度満足した
- どちらとも言えない
- あまり満足しなかった
- 全く満足しなかった





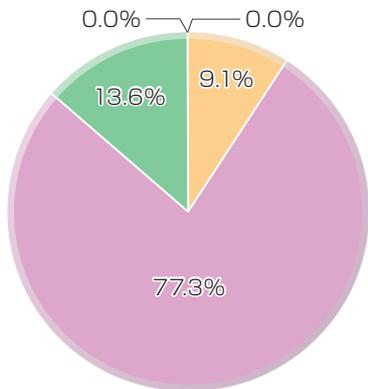
Q7. このフォーラムに参加した「目的」をお答え下さい。【複数回答可】



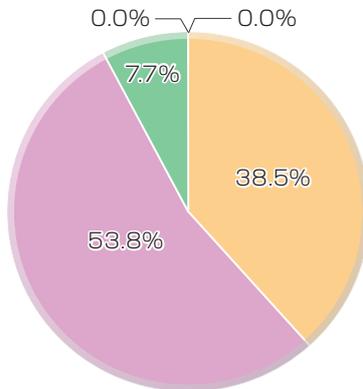
Q8. このフォーラムに参加して、それらがどの程度達成できたかお答えください。

■ 十分達成できた ■ 達成できた ■ どちらとも言えない ■ 達成できなかった ■ ほとんど達成できなかった

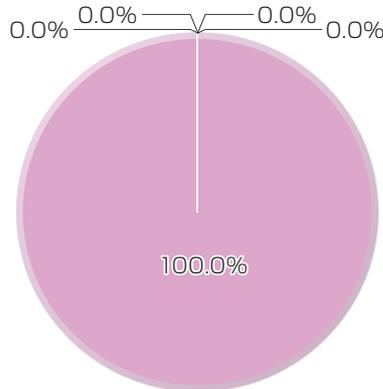
活動や仕事に活かすため参加した人



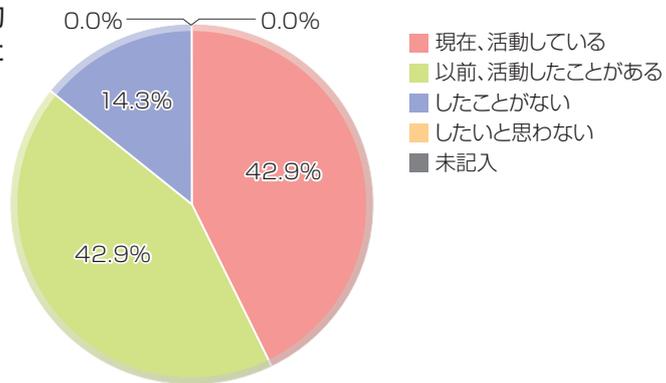
知識・教養を高めるため参加した人



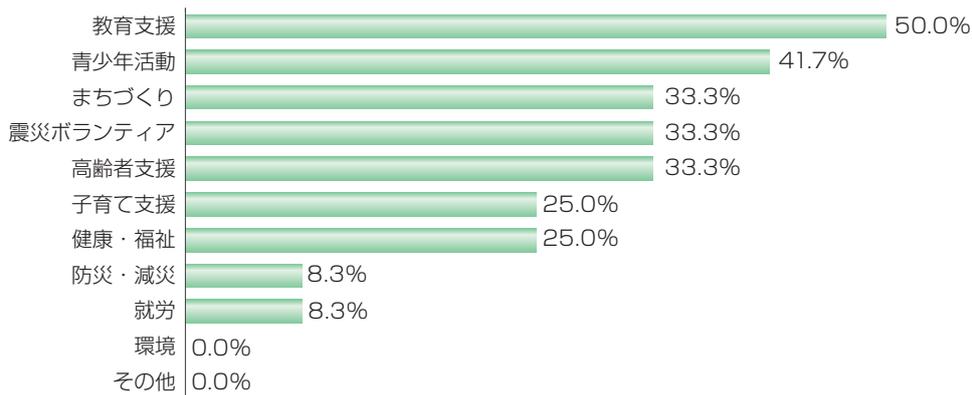
今後のネットワークづくりのため参加した人



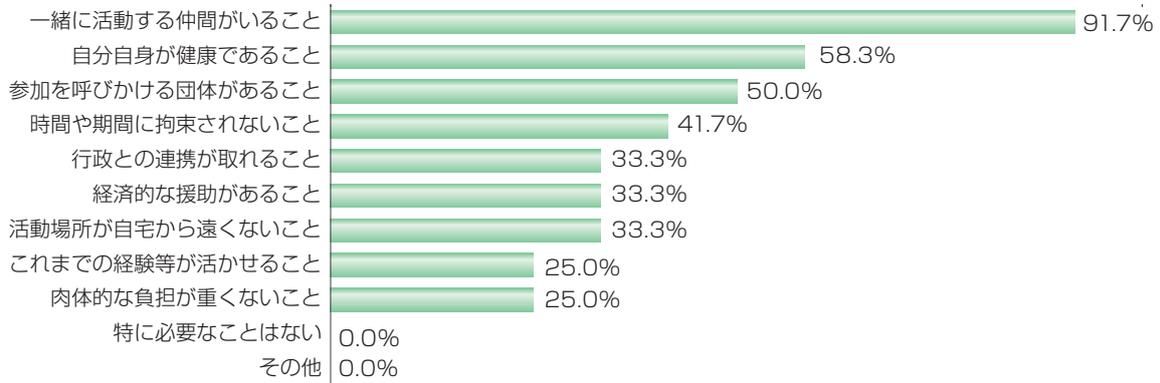
Q9. あなたは、これまでに地域や社会的な課題を解決するための活動に参加したことがありますか。



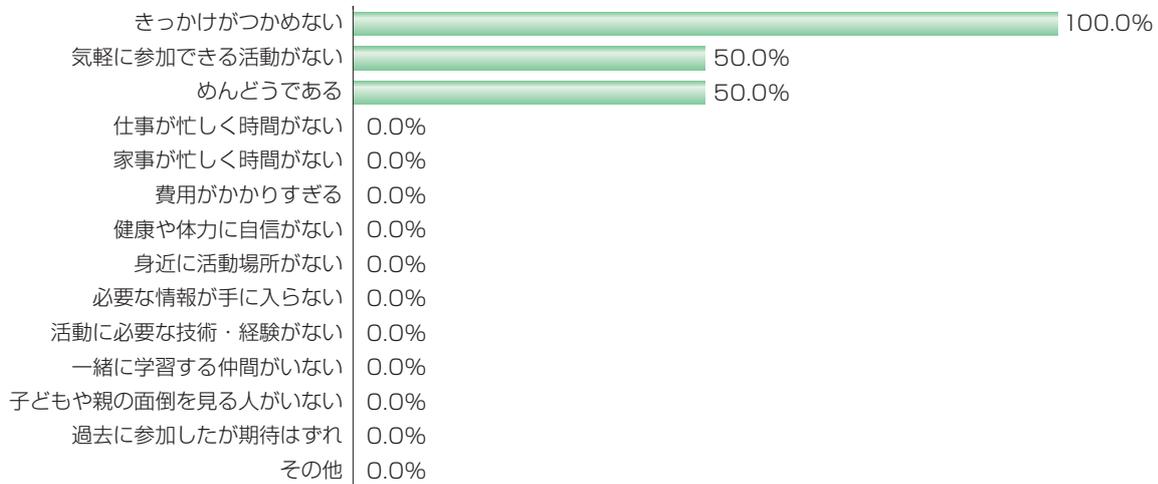
Q10. どのような地域活動に参加していますか【複数回答可】



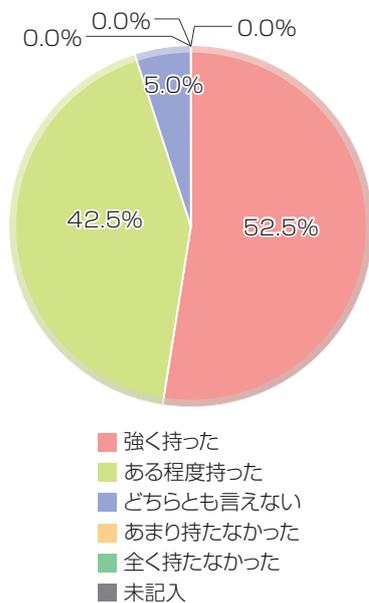
Q11. 地域活動に参加するにあたってどのようなことが必要だと思いますか【複数回答可】



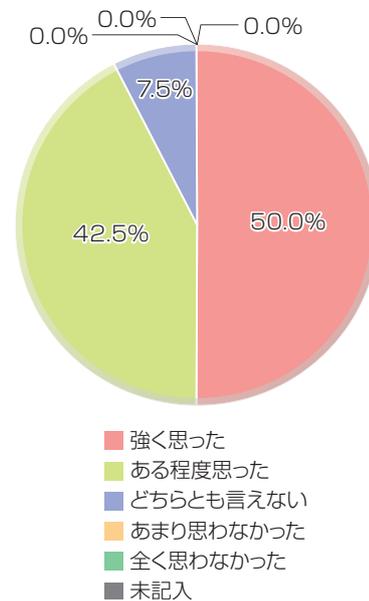
Q12. 地域活動に参加しなかったあるいは参加したくないと思う理由はなんですか【複数回答可】



Q13. このフォーラムに参加して、地域や社会的な課題に興味や関心を持ちましたか



Q14. このフォーラムに参加して、地域や社会的な課題を解決するための活動に参加したいと思いましたか。



 まなびピア 2012

全国生涯学習
ネットワークフォーラム
2012 学びを通じた絆づくりと
活力あるコミュニティの形成

報告書

主催：全国生涯学習ネットワークフォーラム2012実行委員会  文部科学省

ホームページ <http://www.facebook.com/manabipeer>